道徳科学習指導案

指導者 近藤 晋平

- 1 日 時 平成29年12月1日(金) 3校時(10:30~11:15)
- 2 学年・組 第6学年月組 29名
- 3 主題名 家族の幸せを求めて <内容項目 家族愛 家族生活の充実 C(15)>
- 4 教材名 おばあちゃんの心 (文溪堂)
- 5 ねらい 「私」が祖母から受ける無償の愛に気づき成長する姿を通して、家族を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役立つとする道徳的心情を育てる。

6 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値

近年、児童虐待や育児放棄といったことが頻繁にニュースとして取り上げられる社会であるが、学校に通うほとんどの児童にとって、家庭とは最も身近な社会集団であり、また、家族からたくさんの愛情や経済的な保護を受けられる場でもある。

高学年のこの時期、父母、祖父母に対する敬愛が深まる一方で、家族から受ける行為や言動の多くを、日常的な「やってもらってあたりまえ」のこととして受け止めていたり、「大人は分かってくれない」といった自分本位な思いが強くなっていたりすることで、家族の自分に対する思いや願いについては深く考えることは少ない。

この教材を通して、家族のありがたさや家庭のぬくもりについて再認識させる機会にするとともに、家族の絆や信頼関係、ひいてはこれからの自分の家族のより良いあり方について考えを深める時間としたい。そして、これまで自分が成長できたのは、家族の愛情や支援によるものであるということに感謝の気持ちを持ち、家族や周囲の人たちに自分ができることを考えながら行動できるようにしたい。

(2) 児童の実態

本学級の児童は、校内では、最高学年として、登校班の班長やファミリー班での活動では下学年を引っ張っていかうとする姿が見られる。しかし、一方で自己中心的で受身的な姿もまだまだ見られる。家庭においても、これまで育ててくれた家族や、関わってくれた人たちへの感謝の気持ちがすでに芽生え初めている児童がいる反面、家族や周りの人が自分に対してしてくれていることを当然のことと考え、日常生活の中で自分に関わってくれている人たちの思いや願いについては深く考えていない児童もいる。

この教材を通して、児童が現在の自分と家族についてしっかりと見つめるきっかけとしたい。また、家族を敬愛することの尊さや、自分たちが家族の一員として主体的に関わり、家族の幸せのために進んで役に立つとする道徳的心情を育てたい。

(3) 教材について

本教材は、祖母、父母、弟の5人家族の中で育つ主人公の「私」が、夕食時の祖母とのやりとりをきっかけに、祖母から受ける家族に対する無償の愛に気付き、家族を敬愛する気持ちを深めていく話である。

本文は、現在母となった主人公の「私」が、子ども時代に家族の本当のありがたさを知ったある出来事を振り返る形で構成されている。

本教材では、家族から受ける無償の愛になかなか気付けない「私」に共感しながら読み進め、その愛に気づいた後の「私」の思いをしっかりと考えさせることで、児童が家族のありがたさを感じたり、今の自分の家族に対する考えを深めたりできる時間にした。

7 考えを深め合う授業の工夫

- ・ 道徳ノートを活用し、授業の中で一度立ち止まって自分の考えを書かせることで、児童が今の自分自身をしっかりと見つめられるようにする。
- ・ 教師が児童の発言に対して追発問をしたり、中心人物から視点を変える発問をしたりすることで、児童の心を揺さぶり道徳的価値を深められるようにする。

8 本時の展開

過程	学習活動	学習形態	主な発問と予想される児童の反応	教師の働きかけ	準備物・評価
導入	<ul style="list-style-type: none"> 自分の家族について考える。 	一斉	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">最近、家族とけんかになったことはありますか？</div> <ul style="list-style-type: none"> お母さんに、「いつまでテレビ見てるの。」と注意されてけんかになった。 日曜日にお父さんと出かける約束していたのに、守ってくれなくてけんかになった。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族とのエピソードを話す中で、教材への興味付けをする。 	
展開	<ul style="list-style-type: none"> 教材を読む。 私の祖母（家族）に対する心情の変化や価値の深まりを考える。 	一斉 個別 一斉	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">私があらじるを作るたびにあの出来事を思い出し、心の中で「ありがとう」を言うようになったのはどうしてでしょう。</div> <ul style="list-style-type: none"> おばあちゃんを傷つけてしまったから。 おばあちゃんに感謝しているから。 おばあちゃんが、本当に自分たち家族を大切にしてくれていることが分かったから。 おばあちゃんに、いつまでも元気でいてほしいから。 私もおばあちゃんがとっても大事だという気持ちをずっと持っているから。 	<ul style="list-style-type: none"> 私と祖母(家族)の関係性を確認させながら範読する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> この二人の出来事は、私にとって、あってよかったと言えるでしょうか。 私が心の中で「ありがとう」とつぶやくようになったことに着目させる。 働きづめだった祖母の姿が、しるわんの中でぐるぐる回っているのが見えてきたとき、私はどんなことを考えていたでしょう。 この出来事がある前の私は、どんなことを考えて生活していたでしょう。 おばあちゃんは、いつもどんなことを考えて生活していたでしょう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 挿絵等 発問カード プロジェクト 教師用 PC ホワイトボード
	<ul style="list-style-type: none"> 保護者からの手紙を紹介する。 自分の考えを書く。 友だちの振り返りを聞き合う。 	一斉 個別 一斉	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">自分と家族について、今考えていることを書きましょう。</div> <ul style="list-style-type: none"> 最近、反抗的なことばかり言って、自分も親を傷つけているかもしれない。 当たり前みたいに思っているけど、家族って本当にありがたい。 家族に感謝の気持ちをもっと伝えていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な家族の思いに触れることで、自分の家族に引き寄せて考えられるようにする。 他の児童の振り返りを取り上げて紹介することで、家族に対する考えがさらに深まるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳ノート
	<ul style="list-style-type: none"> ※家族について考えを深め、家族を信頼し敬愛することの尊さに気付くことができたか。 		<ul style="list-style-type: none"> 今日、考えたことや友だちの考えを聞いて感じたことを書きましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りの項目ごとに、基準を示しながら、振り返りをさせる。 他の児童の考えを聞いて、さらに考えたことを書かせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ※家族を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役立つとする心情を持つことができたか。
終末	<ul style="list-style-type: none"> 今日の振り返りを書く。 	個別	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">今日、考えたことや友だちの考えを聞いて感じたことを書きましょう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ※家族を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役立つとする心情を持つことができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> <道徳ノート>